

Quality for You



三菱UFJフィナンシャル・グループ
株主の皆さまへ **2006**

第1期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

MUFGのグループ総合力

お客さまのあらゆる金融ニーズにグループ一体となってお応えします。

資産管理

日本マスタートラスト信託銀行

ファクタリング

三菱UFJファクター

証券代行

日本シェアホルダーサービス

JPビズメール

調査・コンサルティング

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

三菱アセット・ブレインズ

三菱UFJトラスト投資工学研究所

法人のお客さま向けビジネス

リース

ダイヤモンドリース

UFJセントラルリース

東銀リース 日本ビジネスリース

ベンチャーキャピタル

三菱UFJキャピタル

MUハンズオンキャピタル

システム

ダイヤモンドコンピューターサービス

UFJIS UFJ日立システムズ

カード・信販・消費者金融

UFJニコス※

ディーシーカード※

菱信ディーシーカード

アコム

DCキャッシュワン

モビット

信用保証・不動産調査

三菱UFJ住宅ローン保証

三菱UFJトラスト保証

エム・ユー不動産調査

外貨両替

東京クレジットサービス

(ワールドカレンシーショップ)

不動産仲介

三菱UFJ不動産販売

債権管理・回収

エム・ユー・フロンティア債権回収



MUFG

三菱UFJフィナンシャル・グループ

三菱東京UFJ銀行

三菱UFJ信託銀行

三菱UFJ証券

確定拠出年金

日本確定拠出年金

コンサルティング

海外

Union Bank of California

三菱UFJセキュリティーズ

インターナショナル

BTMUキャピタル・コーポレーション

ウェルスマネジメント

三菱UFJウェルスマネジメント証券

三菱UFJメリルリンチPB証券

ダイヤモンドプライベートオフィス

UFJプラザ21

資産運用

三菱UFJ投信

MU投資顧問

国際投信投資顧問

ネット証券

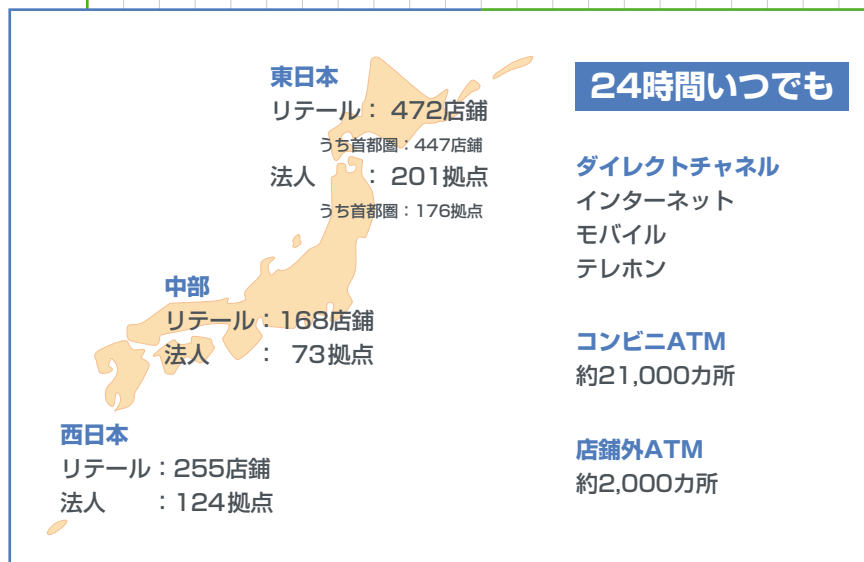
カブドットコム証券

個人のお客さま向けビジネス

※UFJニコスとディーシーカードは平成19年4月1日に合併し「三菱UFJニコス」となる予定です。

平成18年3月31日現在

いつでもどこでも金融サービスをお届けします。



注：リテール…出張所を含む本支店。銀行、信託銀行は振込専用支店などのバーチャル店舗、ローン推進出張所、代理店などを除く。証券はお客さま向けカウンターを持たない営業拠点を除く。

法人……「法人営業オフィス」を含む。

平成18年3月31日現在

三菱UFJフィナンシャル・グループ

くろやなぎ

社長の畔柳でございます。ここに、「株主の皆さまへ」第1期をお届けいたします。

MUFGグループは、昨年10月の発足以来、収益力の向上や財務基盤の強化など、グループのめざす姿の実現に向けて取り組んでまいりました。こうした取り組みは、着実に成果をあげております。



平成17年度業績について

平成17年度の連結当期純利益は1兆1,817億円となり、前年度比約1.3兆円の改善となりました。与信関係費用が大幅な戻し入れになったことが主因ですが、リテール・法人・受託財産の顧客3部門の営業純益が手数料収入の増加等により前年度比約1,900億円増加となったことなども寄与しました。また、資産の質の改善も進み、平成17年度末の不良債権比率は前年度末比1.26ポイント低下し2.07%となりました。連結自己資本比率は、12.20%と引き続き十分な水準を確保しています。

こうした成果を受け、いち早く統合のメリットを株主の皆さまに還元するとの方針のもと、平成17年度の期末普通株式配当額を当初予想の3,000円から4,000円へ引き上げさせていただきました。また、個人のお客さま向けの振込手数料の一部無料化も実施しております。

注：平成17年度は、三菱UFJフィナンシャル・グループと旧UFJホールディングス上期の合算。前期比については、平成16年度の旧三菱東京フィナンシャル・グループと旧UFJホールディングスの合算との比較で表示。

公的資金の完済について

公的資金につきましては、“無理なく早期に返済する” との方針のもと、統合直後より着実に返済を進めてまいりました。この結果、本年6月には、昨年10月時点で総額1.4兆円あった公的資金をすべて返済することができました。

今後は、自己資本の一層の充実や戦略的な投資とのバランスをとりながら、株主の皆さまへの還元を充実させていくとともに、お客さまへのサービス向上や地域・社会への貢献に一層取り組んでいくことで、MUFGグループの企業価値をさらに高めていきたいと考えております。

グループメッセージ「Quality for You」について

“MUFGならではの” の「質」を、株主の皆さま、お客さまをはじめとする皆さまに、さまざまな接点において提供し、これにより「サービスNo.1」「信頼度No.1」「国際性No.1」をめざしていく——グループメッセージ「Quality for You」には、こうしたグループ共通の想いが込められています。

役職員一同、MUFGの「質」の向上に努め、グループのめざす姿の実現に邁進してまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

取締役社長

畔柳信雄

MUFGレポート

MUFGグループは、お客さまのあらゆる金融ニーズに総合的かつ機動的にお応えする「世界屈指の総合金融グループ」をめざしています。「MUFGレポート」では、こうしたグループの取り組みについてシリーズでご紹介します。

三菱UFJメリルリンチPB証券の営業開始について

用語解説

プライベートバンキングサービス

富裕層のお客さまの高度な金融資産運用ニーズ等に、金融機関の持つネットワークやノウハウなどを駆使してお応えする金融サービスのことです。

MUFGグループとメリルリンチ・グループの合併会社「三菱UFJメリルリンチPB証券株式会社」が平成18年5月に営業を開始しました。新会社は、多様化・高度化するお客さまの金融資産運用ニーズにお応えするため、プライベートバンキングサービス*を提供していきます。

会社概要

◆社名：三菱UFJメリルリンチPB証券株式会社

◆営業開始：平成18年5月1日

◆株主（議決権割合）：

メリルリンチ日本証券	50%
三菱東京UFJ銀行	40%
三菱UFJ証券	10%

◆代表者：

代表取締役最高経営責任者
岡林 淳二

代表取締役最高業務執行責任者
渡邊 佳昭

◆国内拠点：

本店・大阪支店・名古屋支店・福岡支店



新会社のサービス

世界トップ水準のプライベートバンキングサービスをお求めのお客さまにお応えするためには、先進的な金融商品のご提供はもちろん、国内外を網羅する調査・情報・分析力、厳格な法令遵守体制、人材の確保が必須となります。

三菱UFJメリルリンチPB証券は、こうしたお客さまのニーズに、グローバルな経営資源とプライベートバンキング業務の高い専門性を活かしてお応えしていきます。具体的には、専門の担当者がお客さまの運用目的を明確化するお手伝いをし、そのうえでお客さま一人ひとりの状況と目的に合わせた運用計画をご提案します。また、計画に沿った運用の実行および運用結果の検証を行っていきます。



5月1日開業記念式典

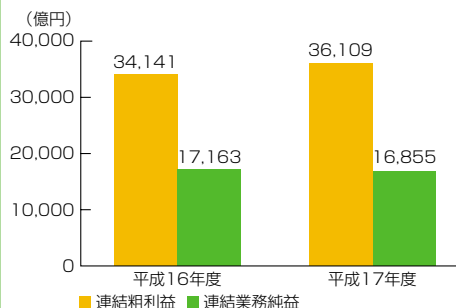


三菱UFJメリルリンチPB証券
ロゴマーク

平成17年度の業績について（損益の状況）

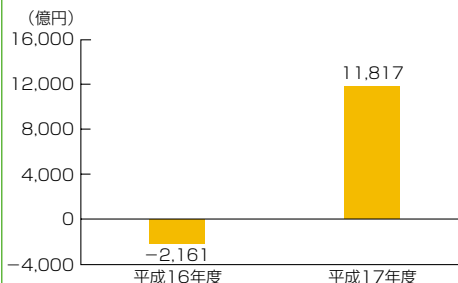
6

連結粗利益・連結業務純益



好調な運用商品販売やUFJニコスなどを新たに連結子会社化したことを主因に、連結粗利益は、前年度比1,967億円増加しました。一方、統合関連費用の発生や連結子会社の経費の増加などにより経費が2,275億円増加したため、連結業務純益は307億円減少し、1兆6,855億円となりました。

当期純利益(損失)



連結当期純利益は、株式等関係損益の改善(+2,379億円)や、多額の貸倒引当金戻入益の計上による与信関係費用の改善(+1兆4,652億円)を主因として、1兆3,978億円増加し、1兆1,817億円の黒字となりました。

損益の状況（連結）

① 連結粗利益（信託勘定償却前）

- うち資金利益
- うち役務取引等利益

営業費

② 連結業務純益

（一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前）

③ 臨時損益（△は費用）

- うち与信関係費用
- うち株式等関係損益

経常利益

特別損益

- うち貸倒引当金戻入

税金等調整前当期純利益

法人税、住民税および事業税

法人税等調整額

少数株主利益

当期純利益（△は損失）

与信関係費用総額（△は費用）

（信託勘定償却+与信関係費用+貸倒引当金戻入）

*平成16年度実績は旧三菱東京フィナンシングスの単純合算、平成17年度実績と旧UFJホールディングス（4～9月）

(単位：億円)

平成16年度※

平成17年度

34,141	36,109
18,123	18,579
9,248	10,997
16,977	19,253
17,163	16,855
△ 16,077	△ 2,513
△ 12,801	△ 2,182
△ 1,770	609
964	14,333
3,244	6,342
2,168	6,089
4,209	20,675
871	1,409
4,890	6,453
607	993
△ 2,161	11,817
△ 10,755	3,897

ンシャル・グループと旧UFJホールディ
は三菱UFJフィナンシャル・グループ
の単純合算で表示しています。

用語解説

業務粗利益とは… ①

貸付利息や各種手数料などの銀行業務に関する収益（一般企業の売り上げにあたるもの）から、預金利息等の資金調達に関する費用等の業務に関する費用（一般企業の売上原価にあたるもの）を差し引いたものを「業務粗利益」といいます。

業務純益とは… ②

業務粗利益から、行員・社員に関する人件費やシステム投資に関する償却費用等の物件費など、経常的に発生する費用（営業費）を差し引いたものを「業務純益」といいます。業務純益は銀行の本来的な収益力を示す重要な指標とされています。

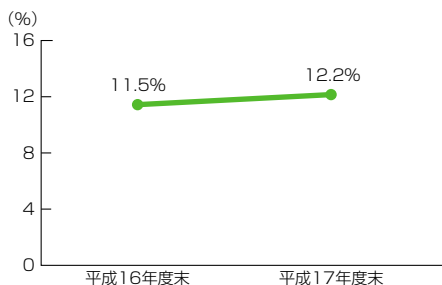
臨時損益とは… ③

臨時損益とは、人件費や物件費など、経常的に発生する費用以外の臨時的な色彩が濃い費用のことをいいます。具体的には、不良債権の処理に伴う費用（与信関係費用）や株式の売却や償却に係る費用などが含まれています。

平成17年度の業績について（資産・負債の状況）

8

連結自己資本比率（国際統一基準）



平成17年度末の連結自己資本比率は12.2%となりました。平成17年度中に公的資金返済に際し自己株式の買受7,609億円を実施しましたが、引き続き十分な水準を確保しています。

資産・負債の状況（連結）

資産の部

うち貸出金

うち有価証券

負債の部

うち預金

資本の部

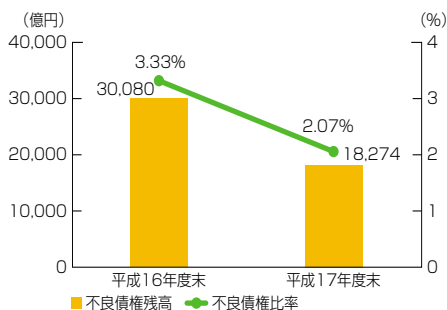
注：平成16年度末実績は旧三菱東京フィナンの単純合算。

連結自己資本比率の状況

① 連結自己資本比率（国際統一基準）

注：平成16年度末実績は、旧三菱東京フィナンの合算（ただし、旧三菱東京フィナンシャ億円を除き、Tier II 算入額を再計算）を記

不良債権（金融再生法開示債権）残高・比率



平成17年度末の不良債権比率（貸出金など 与信全体に対する不良債権の割合）は、お取引先の業況改善や既存不良債権の処理の進捗などにより、前年度末比1.26ポイント低下し、2.07%となりました。

不良債権の状況

② 不良債権（金融再生法開示債権）

不良債権比率

注：平成16年度末実績は旧東京三菱銀行、旧不良債権処理のための分離子会社の合算三菱UFJ信託銀行、不良債権処理のための

用語解説

自己資本比率とは… ①

自己資本比率とは、貸出金などの資産（リスクアセット）に対する自己資本の割合を示す指標です。国際業務を営む銀行は、自己資本比率を8%以上に保つことが義務づけられています。

不良債権とは… ②

不良債権とは、銀行が保有する貸出金などの債権のうち、元本または利息の回収に問題が生じている、あるいは問題が生じる懸念があるものをいいます。銀行は、金融再生法および銀行法の2つの法律によって、不良債権などの状況を開示することが義務づけられています。ここでは金融再生法に基づく開示債権のことを「不良債権（金融再生法開示債権）」と呼んでいます。

(億円)

平成16年度末 平成17年度末

1,928,391	1,870,467
838,010	857,631
505,941	485,089
1,849,919	1,772,204
1,182,744	1,189,880
59,579	77,278

シャル・グループと旧UFJホールディングス

11.5%

12.2%

シャル・グループと旧UFJホールディングス
ル・グループから旧UFJ銀行への出資7,000
載しています。

30,080

18,274

3.33%

2.07%

UFJ銀行、旧三菱信託銀行、旧UFJ信託銀行、
値。平成17年度末実績は三菱東京UFJ銀行、
分離子会社の合算値。

MUFGグループは、経営理念のひとつに「地域の発展に寄与すると共に、環境に配慮した企業活動を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する」を掲げ、広く社会から信頼・信用される金融グループ、良き企業市民をめざし、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）経営を実践しています。

用語解説

国連グローバル・コンパクト

各企業に、それぞれの影響力の及ぶ範囲内で、人権、労働基準、環境に関して、国際的に認められた規範を支持し実践するよう促すもの。1999年にアナン国連事務総長が提唱。

MUFGグループは、CSR活動をグループ全体で推進していくため、CSR委員会の設置、「MUFGグループ環境理念・方針」の制定など、体制を強化しました。また、平成18年3月に、「国連グローバル・コンパクト*」への支持を表明したほか、平成18年5月に、三菱UFJ信託銀行が、世界の機関投資家や年金基金などが投資判断の意思決定過程において、環境・社会・企業統治の問題に関する視点を取り入れることをめざす、国連「責任投資原則」に署名しました。

社会貢献における取り組み

三菱東京UFJ銀行は、小中学生を対象とした金融教育プログラム『キッズマーケットキャンプ』に積極的に協力しています。平成18年3月には、本店・ディーリングルームの見学会と為替相場のしくみの説明、練習用のお札を使ったお金の数え方の実演などを行いました。

また、三菱UFJ信託銀行が取り扱っている個人向け投資信託「三菱UFJ SRIファンド（愛称：



キッズマーケットキャンプ

ファミリー・フレンドリー)」は、投資の際に企業の財務的観点に加え、「仕事と生活を両立でき多様で柔軟な働き方を選択できるか」という観点からの評価も導入しており、育児・介護支援を含む少子高齢化問題に前向きに取り組んでいる企業を支援しています。

環境分野における取り組み

MUFGグループ各社では、環境に配慮した企業活動への融資など、金融機関としての本業を通じた取り組みを進めています。

三菱東京UFJ銀行は、金融サービスを通じた環境保全を推進するため、平成17年10月に、「環境融資室」を新設しました。環境融資室では、3年間で総額1,000億円の「環境ファンド」を創設し、風力発電、太陽光発電といった、政府が推進する環境事業に積極的に融資を行います。また、各種リサイクル事業などの環境関連事業にも幅広く取り組んでいきます。

三菱UFJ証券では、地球温暖化防止のための対策のひとつであるクリーン開発メカニズム(CDM)*に関するコンサルティングを通じて、発展途上国の地域社会への貢献と地球規模の温暖化ガスの削減に努めています。



三菱東京UFJ銀行は日本政策投資銀行と共同で、彩の国資源循環工場焼却灰リサイクル施設に対しシンジケート・ローンを組成しました。

用語解説

クリーン開発メカニズム(CDM)

「京都議定書」に定められている地球温暖化防止のための対策手段のひとつ。先進国が、途上国で温暖化対策の事業を行い、その削減量を先進国の削減達成に利用するもの。



* 口座をお持ちの銀行のATMが対象です。

**三菱東京UFJ銀行のキャッシュカードによる振り込みのみが対象です。

個人のお客さまのATM・ダイレクトバンキングなどでの振込手数料一部無料化

MUFGグループは「お客さま本位」の考え方のもと、サービス拡充の一環として、グループの持つ広範かつバランスのとれたネットワークの利便性・メリット等を実感していただくため、平成18年5月から、個人のお客さまが三菱東京UFJ銀行または三菱UFJ信託銀行にお持ちの口座から、両行のATM*またはコンビニATM**で、キャッシュカードにて本支店間および両行間の振り込みをされた場合の振込手数料を無料としました。また、三菱東京UFJ銀行のダイレクトバンキング（有人対応を除く）、三菱UFJ信託銀行のテレホンバンキングでも振込手数料の一部無料化を実施しています。

KDDIとのモバイルネット金融事業での戦略提携

三菱東京UFJ銀行とKDDI株式会社は、関係当局の許認可等を前提に、本邦初のモバイルネット銀行を共同で設立することで合意しました。昨今、携帯電話は日常生活に必要不可欠なツールとなってきており、その機能や利用場面が急速に拡大・多様化してきました。新銀行では、携帯電話番号での振り込みや携帯電話から簡単・即時に口座開設ができるサービスなど、携



帯電話を主な取引手段とした、これまでにない金融サービスを提供していく予定です。

「第2回Business Link商賣繁盛 at INTEX OSAKA」を開催

三菱UFJフィナンシャル・グループでは、平成18年5月に、「第2回Business Link商賣繁盛 at INTEX OSAKA」を開催しました。これは、お取引先企業間のビジネスマッチング（お取引先紹介）の機会を設け、販売先や仕入先の拡大などお取引先企業の事業拡大、事業提携を支援する商談会です。当日は7,000名の方にご来場いただき、約4,500件の商談が行われるなど、大変盛況でした。



第2回Business Link商賣繁盛
at INTEX OSAKA

チェコ共和国のプラハに支店を開業

三菱東京UFJ銀行では、チェコ共和国の首都プラハに、オランダ三菱東京UFJ銀行のプラハ支店を開業しました。チェコ共和国は中東欧諸国のなかでも本邦企業の進出が活発な地域であり、プラハ支店開業により企業のお客さまに対する預金・融資業務のみならず、現地通貨取引等幅広いサービスの提供が可能となりました。三菱東京UFJ銀行は、中東欧諸国に営業拠点を有する唯一の邦銀であり、今後一層充実した総合金融サービスを提供していきます。



チェコ共和国プラハ市





「資産運用口座」(愛称：番頭さん)の取り扱い開始

三菱UFJ信託銀行では、平成18年5月から個人向けの投資一任運用サービス「資産運用口座(愛称：番頭さん)」の取り扱いを開始しました。この商品は、「安定」型や「積極拡張」型など投資スタイルごとに銘柄を組み合わせ、お客さまの投資目標やリスク許容度に応じてご提供する資産運用サービスです。投資対象である公募投資信託の選定等にあたっては、格付機関スタンダード&プアーズと提携するとともに、国内最大級の受託運用機関としてこれまで培ってきた運用ノウハウ・経験を活かしていきます。



環境保全信託「さいたま緑のトラスト」の取り扱い開始

三菱UFJ信託銀行では、平成18年5月から、埼玉県が進める緑化保全活動「緑のトラスト運動」の寄附者である個人・法人を対象とした環境保全信託「さいたま緑のトラスト」の取り扱いを開始しました。「超長期(20年以内)の寄附」「遺言による寄附」「資金の管理運用を行いつつ、元本と収益金を寄附」といった信託ならではの特徴を備えた本商品を通じ、お客さまと一体となって持続可能な社会の実現に向けた環境保全活動を展開していきます。

団塊倶楽部

三菱UFJ証券の「団塊倶楽部」は、団塊世代の方のためのサービスです。ご入会いただくと、健康相談や各種セミナー、資産運用に関するサポートなど、ご退職後を豊かに暮らしていただくためのさまざまなサービスをご利用いただけます。

セミナーでは、これまで、健康や「食」「美」などをテーマに各界の著名人をお招きして講演などを行っています。毎回多くの会員の方にご参加いただきご好評をいただいています。



「スマートプラス」方式を活用した非接触IC・携帯クレジットサービス拡大

三菱UFJフィナンシャル・グループと三菱東京UFJ銀行、UFJニコス、ディーシーカードは、VISAインターナショナルと共同で、UFJニコスが開発した非接触ICクレジット方式「スマートプラス」を活用し、非接触IC・携帯クレジットの拡大に取り組んでいます。具体的には、MUFGグループが「スマートプラス」の技術・ノウハウをVISAに無償で提供する一方、VISAはその技術を発展させるとともに本邦のVISAメンバーに提供していきます。

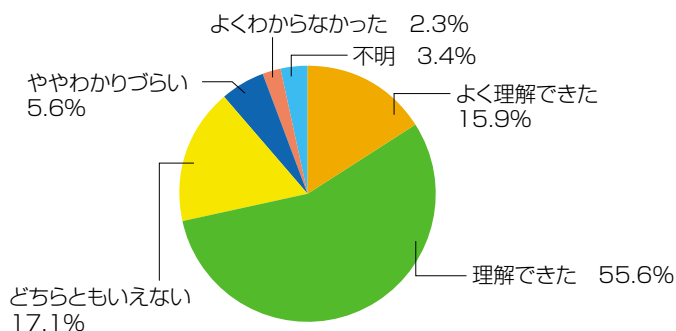


株主アンケート結果のご報告

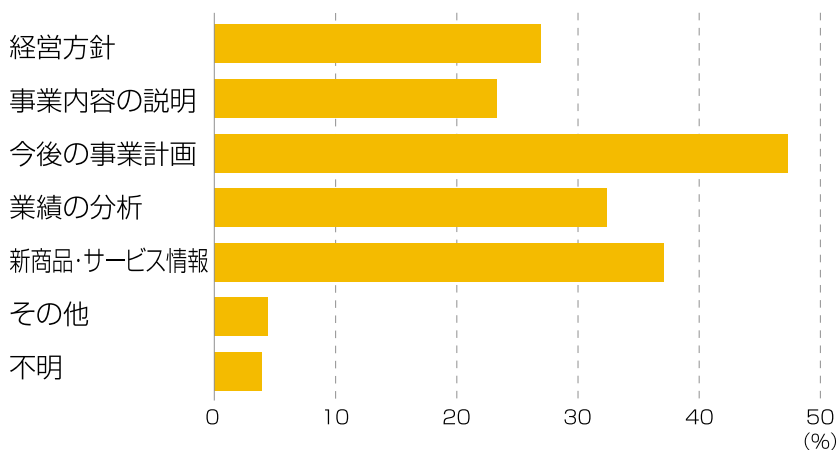
16

当社では、株主の皆さまとのコミュニケーションをより深めていくため、第5期中間期「株主の皆さまへ」（平成18年1月発行）においてアンケートを実施させていただきました。ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。頂戴したご意見等につきましては、今後のIR（投資家向け広報）活動に活かしてまいります。

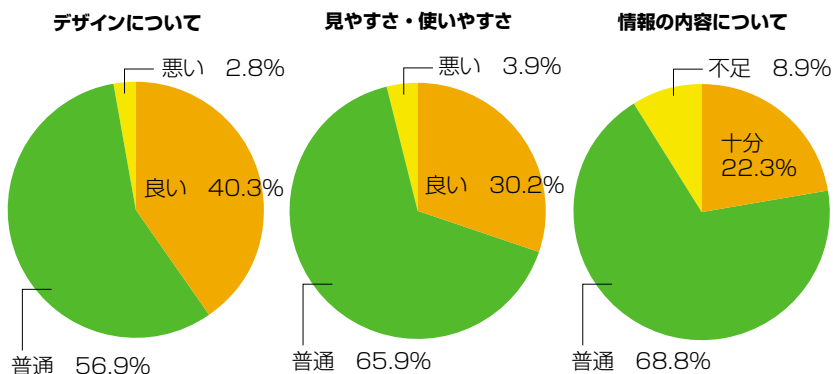
1. 本誌についてのご感想



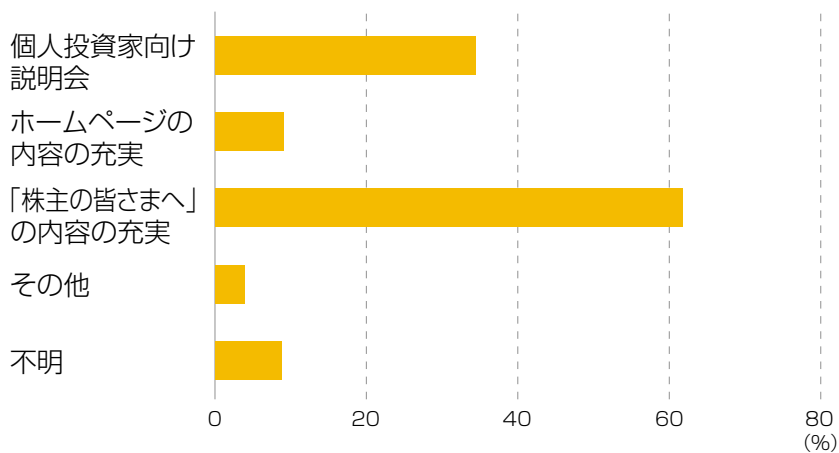
2. 今後、本誌で取り上げてほしい情報



3. 当社のホームページに対するご感想



4. 今後、充実を希望されるIR活動



ご回答いただいた株主の皆さま

回答者数：3,214件（回答率 約1.13%）

男性：76.9% 女性：16.8%

株主さまからの声

Q 株主還元の考え方について教えてください。

A MUFGでは、統合効果をいち早く還元するという方針のもと、平成17年度の普通株式の1株当たり期末配当額を当初予想の3,000円から4,000円に引き上げさせていただきました。今後は、国内主要企業や欧米主要銀行の水準を意識しつつ、業績動向なども踏まえ、株主還元の充実を継続的に検討していきます。また、検討にあたっては、自己資本の充実や戦略的投資とのバランスも十分に検討していく必要があると認識しており、このようなバランスが、中期的には株主価値の向上につながるものと考えています。

Q システムの本格統合は大丈夫ですか。

A システムの本格統合に対しては、お客さまサービスや金融システムに与える影響の大きさや、MUFGグループが果たすべき社会的責任の重さを十分認識し、社会的な信頼性を最も重視する観点から、システム障害を回避し、安全・確実な統合を実現するために万全にも万全を期して取り組んでいます。

Q 専門用語には用語解説を、また役員名には振り仮名を付けてください。

A ご指摘いただき大変ありがとうございます。専門用語や役員名につきましては、できるだけ用語解説や振り仮名を付けていくようにいたします。

役員（平成18年6月29日現在）

取締役会長（代表取締役）

たまこし りょうすけ
玉越 良介

取締役副会長（代表取締役）

うえはら はるや
上原 治也

取締役社長（代表取締役）

くろやなぎ のぶお
畔柳 信雄

取締役副社長（代表取締役）

ながやす かつのり
永易 克典

専務取締役（代表取締役）

すぎざき はじめ
杉崎 肇

専務取締役（代表取締役）

わたなべ よしひろ
渡辺 喜宏

専務取締役（代表取締役）

みずの としひで
水野 俊秀

取締役

やすだ しんたろう
安田 新太郎

取締役

あおき ひろひさ
青木 広久

取締役

あきくさ ふみゆき
秋草 史幸

取締役

おかうち きんや
岡内 欣也

取締役

ひらの のぶゆき
平野 信行

取締役*

おおきじま いわお
大木島 巖

取締役*

はらだ あきお
原田 明夫

取締役*

おおとし たくま
大歳 卓麻

常勤監査役

う の せつお
宇野 節生

常勤監査役

まつき はるお
松木 春夫

監査役**

いまい たけお
今井 健夫

監査役**

たかすか つとむ
高須賀 焔

監査役**

おかもと くにえ
岡本 園衛

* 大木島 巖、原田 明夫、大歳 卓麻の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

** 今井 健夫、高須賀 焔、岡本 園衛の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

大株主（普通株式 平成18年3月31日現在）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	522,305.00	5.09
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	464,745.00	4.53
3 ヒーロー、アンド、カンパニー	308,517.00	3.01
4 日本生命保険相互会社	211,852.70	2.06
5 ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	203,719.00	1.98
6 ザチェースマンハッタンバンク エヌエイ ロンドン	201,800.00	1.96
7 ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505103	178,517.00	1.74
8 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口）	175,000.00	1.70
9 トヨタ自動車株式会社	120,850.68	1.17
10 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （三菱重工工業株式会社口・退職給付信託口）	118,740.00	1.15
合計	2,506,046.38	24.45

* 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

* 上記のほか、当社が保有している普通株式の自己株式503,124.53株があります。

* ヒーロー、アンド、カンパニーは、ADR（米国預託証券）発行のため預託された株式の名義人です。

上場証券取引所

東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
（平成18年6月2日にロンドン証券取引所の上場を廃止いたしました）

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞 ただし、決算公告は当社ホームページに掲載 （ホームページアドレス http://www.mufg.jp/ ）

株式事務取扱場所・取次所

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 < お問い合わせ先・郵便物送付先 > 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-707-696（フリーダイヤル） （受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00～17:00） 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
同取次所	

お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、端株買取請求、端株買増請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のテレホン自動音声応答サービス

フリーダイヤル

【0120-864-490】

で24時間承っておりますので、ご利用ください。

ホームページのご紹介

三菱UFJフィナンシャル・グループ <http://www.mufig.jp/>

MUFGグループの概要や経営戦略、財務・IR情報、ニュースリリース、個人投資家の皆さまへなど主に投資家の方々向けの情報を掲載しています。

また、グループ各社ホームページへの入り口としても便利です。



三菱東京UFJ銀行 <http://www.bk.mufig.jp/>

商品・サービスのご案内や、各種キャンペーン情報、店舗所在地情報など、グループ銀行の詳細な情報をタイムリーにご覧いただけます。

また、最新の経済・金融情報などの情報も掲載しています。



三菱UFJ信託銀行 <http://www.tr.mufig.jp/>

商品・サービスのご案内や各種相談会の開催情報など、信託銀行ならではの幅広い商品、業務、最新の金融・経済情報などを掲載しています。



株主の皆さまへアンケートのお願い

当社では、今後とも株主の皆さまとのコミュニケーションをより深めてまいりたいと考えております。

つきましては、アンケートを実施させていただきたく、大変お手数ではございますが、以下の質問事項へのご回答をご記入のうえ、ご返送くださいますようお願い申し上げます(はがき部分を切り取ってそのままご投函ください)。また、下記URLよりアンケートサイトにアクセスしていただき、ご回答いただくこともできます。

URL : www.kvoice.jp アクセスナンバー : 8306bs

アンケート実施期間：
平成18年7月31日まで

----- ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます -----

アンケートのお願い(○印をおつけください)

Q8. 本誌についてのご感想をお聞かせください

- ① () よく理解できた／満足
② () 普通
③ () よくわからなかった／物足りない※
※今後、特に掲載を希望される内容をお聞かせください
()

Q9. グループメッセージ「Quality for You」についてお聞かせください

- ① () 知っている／理解できる
② () 聞いたことがない／理解できない
③ () その他 ()

Q10. 今後、充実を希望される株主還元策についてお聞かせください (2つまでお選びください)

- ① () 増配
② () 株主優待の実施
③ () 株式投資単位の引き下げ
④ () 自社株買い
⑤ () その他 ()

Q11. 今後、充実を希望される活動などについてお聞かせください (いくつお選びいただいても結構です)

- ① () 個人投資家向け説明会の開催
② () ホームページの内容充実
③ () 株主向け資産運用相談会・セミナー等の開催
④ () その他 ()

Q12. その他、当社へのご要望等をご自由にお書きください

インターネットによるアンケートは株式会社アイ・アール ジャパン(IR活動支援会社)が運営する個人投資家Webアンケートシステム「Kvoice」を利用しています。



「Kvoice」に関する
お問い合わせ先：
inquiry@kvoice.jp

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

株主の皆さまへアンケートのお願い

【以下について、お差しつかえなければご回答を下のはがきのご回答欄にご記入ください】

- Q1. ご年齢 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上
- Q2. 居住都道府県
- Q3. 性別 ① 男 ② 女
- Q4. ご職業 ① 会社員・公務員 ② 会社役員 ③ 自営業 ④ 専門職 ⑤ 無職 ⑥ 主婦 ⑦ 学生
⑧ その他()
- Q5. 所有株式数
- Q6. 当社株式保有期間 ① 1年未満 ② 1年以上2年未満 ③ 2年以上5年未満 ④ 5年以上
- Q7. 三菱東京UFJ銀行／三菱UFJ信託銀行のご利用状況
①メインバンク(主取引銀行)としてご利用 ②メインバンクではないがお取引あり
③ お取引／ご利用なし

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

料
金
受
取
人
払



差出有効期間
平成18年12月
31日まで
切手は不要です。

郵便はがき

100-8784

313

東京都千代田区丸の内2-7-1

株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ
総務部総務グループ 行



お差しつかえなければご記入ください

ご回答欄	
Q1. 答	()
Q2. 答	()
Q3. 答	()
Q4. 答	()
Q5. 答	()
Q6. 答	()
Q7. 答	()

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

URL: <http://www.mufg.jp/>

平成18年6月発行

本誌は再生紙、大豆インキを使用しています。

